

情報をくらべて買い物をしよう

キーワード 環境に配慮したマーク（エコマークなど）、環境に配慮した商品（グリーン商品など）

エネルギー教育の視点（目標）

この題材では、買い物の仕方を見直し、目的に合った計画的な買い物をするために、身近な物を選び、買い方を考える。自身の生活に合った商品を選ぶことは当然のこと、環境や廃棄のことも考えることで、環境にも配慮した買い物ができると知らせる。

買い物（消費行動）には、正しい情報の入手と、それらを比較して主体的に判断することが必要である。

今日の消費行動は、複雑化・高度化しており、児童たちにとって、判断する指標がありすぎるような状況にある。その中で、健全な金銭感覚とともに、環境に配慮した商品を選ぶ感覚を身につけることは、日常生活での消費者意識と環境に配慮する行動につながる。

【知識・技能】身近な物の選び方、買い方を理解し、購入するために必要な情報の収集・整理をおこなう中で環境に配慮した生活の工夫ができることを理解し、買い物の計画が適切にできる。

【思考力・判断力・表現力】購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、買い方を考え、工夫するなかで環

境に配慮する視点も加えて計画を考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。

単元の流れ（5時間）

1. お金の使い方（1時間）
 - ・日常生活でさまざまなお金の使い方をしてることを話し合う。
2. 商品購入までの流れ（3時間）
 - ①商品は必要性がある時に購入することを知る。
 - ②買い物の手順を知り、計画的に買い物をすることに気付く。

③商品の情報を比較し、自分にとって必要な商品を選択するシミュレーションをおこなう。

【目標】商品から得られる情報を活用し、環境に配慮する視点も加えながら自分の目的に合う商品を選ぼうとする。（思考・判断・表現）

3. よりよい買い物（1時間）
 - ・自分のライフスタイルに合った消費生活について考える。

板書例

情報をくらべて買い物をしよう

買い物をする時に気をつけること

- 野菜（加工食品の場合）
 - ・新鮮さ（消費期限・賞味期限）
 - ・産地（原材料・品質表示）

⇒運ぶのに、エネルギーが使われる。
⇒近くからだ、少ないエネルギー、新せんなまま。

- ・量
- ・マークや生産者情報など

- 文具（そのほかのもの）
 - ・大きさ（量）

⇒自分にとって使いやすいか。

⇒エコマーク、グリーンマーク、再生紙マーク。

- ・品質（何でできているか）

⇒再生紙などは、環境に気をつけられている商品。

●ノート…学校の宿題用に使うノート

- ・ねだん
- ・量（ページ数・さつ数）
- ・何でできているか（マークや表示）

①商店街の店 …歩いて5分	②商店街の店 …歩いて5分	③商店街の店 …歩いて5分
・10mm方眼 ・表紙：動物写真 ・60ページ ・税込み：120円	・10mm方眼 ・表紙：動物写真 ・60ページ ・税込み：120円 ・グリーンマークつき	・表紙：イラスト（写真なし） ・1さつ60ページ ・税込み： ・300円（3さつ） ※3さつとも同じ
④スーパーマーケット …バスで5分	⑤スーパーマーケット …バスで5分	
・10mm方眼 ・表紙：動物写真 ・60ページ ・税込み：98円	・10mm方眼 ・表紙：気に入っているキャラクター ・60ページ ・税込み：120円	

	本時の流れ	指導のポイント
導入	1. 商品の購入に向けて得られる情報を知る。（15分） 食品（野菜）と文具についてとりあげる。 ①買い物をする時に気をつけることを思い出す。 〈食品〉新鮮さ（賞味期限）、価格、材料、量、産地 ・フードマイレージや生産にかかるエネルギーのこ を知る（本誌P.14～15参照）。 〈文具〉デザイン、使いやすさ ②商品につけられる情報を知る。 〈食品〉野菜：生産者情報（表示など） 加工食品：JASマーク類 〈文具〉量、規格、マーク類（エコマーク、協会マークなど） ・表示やマーク類は、情報源であることを知る。 ③マーク類の意味について知る。 ・環境に配慮した商品を示すマークについて知る。 （エコマーク、再生紙使用マーク、グリーンマークなど）	1. 児童たちが実生活で購入する商品には、食品とその他（文具・衣料品）がある。文具や衣料品には商品にマークや表示で情報があることが多く、比較させやすい。これらが消費者に何を知らせているのかを正しく把握させる必要がある。食品では、野菜を取り上げるのがよい。フードマイレージの観点から、社会科の学習と関連させて学ぶことができる。また、栽培にもエネルギーが必要であることから、旬のものを購入するなど、配慮ができることを学ぶことができる。 ●商品につけられているマークの例 
展開	2. ノートを例に、自分が購入することをシミュレーションする。（20分） ①それぞれのノートの情報を知る。 （実物を用意すると、よりわかりやすい） ・自分の使用する状況とも合わせてシミュレーションする。 ②情報を基に、自分がどのノートを選ぶのかを決める。 ・自分の状況に合わせて適切に選ぶことができるようにする（AとBの違いは、環境に配慮しているかどうかである）。 ・なぜそのノートを選んだのか理由を明確にする（環境に配慮、使用頻度に配慮、など）。 ③自分が選んだノートとその理由を発表しあう。	2. 自身の生活の場面を想起しやすい文具の購入について取り上げる。児童の実態に合わせて商品を変更するとよい。 今回取り上げたノートでは、①を基準として、②～⑤を比較して自身の生活に合う商品を選択させる。まず、購入店舗（①～③は徒歩、④～⑤はバス）までの交通手段を考えさせたい。商品②は紙の材質が異なり、③は1冊あたりの価格と購入量、表紙デザインが異なる。④は①と同じ商品で価格は安い、交通費がかかる。⑤は、表紙と価格が異なるが、材質等は①と同じである。 商品の情報が示すことや購入において配慮することについて知った時、児童たちからは、自身の生活とはかけ離れた極端な発想が出やすい。情報やエネルギーへの配慮だけで判断することがないように、自分の生活と重ね合わせて考えさせたい。
まとめ	3. 商品購入に向けて考える視点をまとめる。（10分） ①自分の必要に応じた商品を選ぶとともに、同条件であれば、環境に配慮した商品を選ぶことも大切であることを知る。 ・必ずしも環境に配慮した商品を選ぶことが大切なのではなく、自身のライフスタイルに合わせて選択することが大切である。	3. 児童たちが使うことが多いノートの購入を考える。ノートには、大きさ、材質（品質表示）、量（枚数・冊数）、デザイン、価格といった選択の要素がある。主原料となる紙は、パルプを原料としている。パルプは、木材チップを原料としているがそのほとんどを輸入に頼っている。再生紙であれば、原料は古紙であり、木材も輸送エネルギーも消費することはなくなる。社会科と関連して考えさせたい。 児童たちはデザインや価格については気がつきやすいが、素材や量については、経験がないと考えにくい。商品につけられている情報を使い、自分に合った商品を選ぶこと、その中でできることについて気付かせるようにしたい。品質について取り上げる際は、なぜ再生紙を使うことが良いのかエネルギー環境の視点からも触れるようにしたい。2.で考えたことがらを踏まえながら、自分の生活でどのような点に気をつけるのかを考えて選択することが大事であることをおさえておきたい。

◆参考情報&データ
◎リサイクルマークの例についてはP.56を参照。